

報道関係者各位
プレスリリース

No. BM260929-01
2026 年 9 月 29 日
株式会社リンク

**株式会社シャトレゼが「ベアメール 迷惑メールスコアリング」を
導入し、DMARC ポリシー強化と BIMI によるロゴ表示を実現
～～月間 1000 万通を超える規模の送信環境で DMARC 対応を着実に推進～～**

メールを確実に届けることを支援するサービス「ベアメール」を展開する株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 元治）は、株式会社シャトレゼ（本社：山梨県甲府市、代表取締役社長：古屋 勇治、以下シャトレゼ）に採用された事例を公開しました。



（写真 情報システム部 IT インフラ課 柿谷氏）

「ベアメール 迷惑メールスコアリング」は、送信メールの健全性をチェックし、継続的なモニタリングを実現するサービスです。ユーザはテストメールを送信するだけで診断を受けることができ、

迷惑メールと判定されるリスク要因や、その改善策を確認することができます。DMARC 分析機能も備えており、DMARC レポートの可視化や解析、送信元 IP アドレス管理など、組織のメール送信環境を総合的に管理できます。

■導入前の課題

シャトレーズでは、お客さま向けの販促メールを配信する部署から BIMI (※1) 導入の要望が上がったことをきっかけに、DMARC ポリシー (※2) の強化を進めることになりました。当時、DMARC ポリシーは「none」で運用しており、「chateraise.co.jp」を装ったなりすましメールも社内でも確認されていたため、セキュリティ対策の観点からもポリシーの引き上げが求められていました。

一方、月間 1000 万通を超える規模のメールを送信し、送信元も多数存在していたため、DMARC レポート (※3) を読み解きながら、正規の送信元かどうかを一つひとつ確認していくことは容易ではありませんでした。そのため、レポートを効率的に分析できる仕組みと、専門家の支援を受けながら対応を進められる体制が必要でした。

※1 BIMI : 対応するメールサービス上で、メールの受信画面に企業やブランドのロゴを表示するための仕様。BIMI を導入するためには、DMARC ポリシーを「quarantine」100% または「reject」まで引き上げる必要がある。

※2 DMARC ポリシー : 自社ドメインを差出人として使用したメールのうち、DMARC 認証に失敗したメールを受信側でどのように扱うかについて、ドメイン所有者が示す方針。「none (監視のみ)」「quarantine (隔離)」「reject (拒否)」の 3 種類がある。このうち「reject」が最も強力なポリシーで、認証に失敗したメールを受信拒否することにより、なりすましメール対策を強化できる。

※3 DMARC レポート : 自社ドメインを差出人として使用したメールについて、送信元の情報や SPF・DKIM・DMARC の認証結果、受信側でどのように処理されたかなどをまとめたフィードバックレポート。

■導入後の効果

ベアメール 迷惑メールスコアリングの DMARC 分析機能を活用して正規の送信元を整理するとともに、月 1 回のプレミアムサポートで具体的なアドバイスを受けながら、DMARC ポリシーを「quarantine」100% まで段階的に引き上げることができました。DMARC NG となったメールの件数も、導入当初の 3 分の 1 以下に減少しています。

さらに、ベアメールの「BIMI マネージドサービス」を利用し、BIMI によるロゴ表示も実現しました。これにより、対応するメールサービスでは、シャトレーズから送信された正規のメールであることが、お客さまにも伝わりやすくなりました。

■本導入事例の詳細

https://baremail.jp/case_studies/40_chateraise.php

■株式会社シャトレーズ 概要

企業名 : 株式会社シャトレーズ

代表 : 代表取締役社長 古屋 勇治

本社所在地 : 山梨県甲府市下曾根町 3440-1

事業内容：洋菓子・和菓子・アイスクリーム・パン・飲料等の製造及び販売、ワインの販売

URL：<https://www.chateraise.co.jp/>

ベアメールについて

ベアメールは「メールを確実に届ける」ことを支援するサービスとして、メールの高速配信・到達率の改善を実現する「メールリレーサービス」と、迷惑メールになる可能性や原因を診断する「迷惑メールスコアリング」を提供しています。お客さまの環境や状況に応じて2つのサービスを組み合わせることで、メール配信に関する運用の手間を削減し、到達率の改善を実現します。

サービスの詳細は、<https://baremail.jp/> をご覧ください。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティング「at+link」、クラウド型ホスティング「リンク・ベアメタルクラウド」を軸として、9年連続シェア第1位のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」、セキュリティプラットフォームサービス「PCI DSS Ready Cloud」など、さまざまなサブスクリプション型サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2010年2月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。事業の詳細は、<https://www.link.co.jp/> をご覧ください。

★リンクが運営するメディアサイト

「最適なサービスで一步先行く組織へ」ビジネスに伴走する課題解決メディア『LINK Watch!』
<https://watch.link.co.jp/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社イニシャル 大田、山崎、長岡、亀田、乗鞍（株式会社リンク PR 事務担当） TEL：03-5572-6316 / FAX：03-5572-6065 / Email： link-pr@vectorinc.co.jp